

DATA FILE



単斜晶系

名 前	ORTHOCLASE (オーソクレーズ) / 正長石
化学組成	KAlSi_3O_8
色	無色、白色など
光 沢	ガラス光沢、真珠光沢
蛍 光	なし
条 痕	白色
劈 開	完全
断 口	貝殻状
硬 度	モース硬度スケール: 6
比 重	比重スケール: 2.6

せい ちょう せき

正長石

ORTHOCLEASE

セ

結晶は通常、角柱状や卓面状になり、双晶であらわれることが多いほか、大きな塊や小さな粒状でも産する。

双晶であらわれた正長石。イタリア産。



素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。

劈開は完全で、ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。

ガラスのような光沢や真珠のような光沢を持つ。

主に花崗岩やペグマタイト中から産出し、ほかに片麻岩、高温接触変成岩、熱水鉱脈中にも生成する。

ケイ酸塩鉱物

▶正長石と石英の大きな集合体。イタリア産。

アルカリ長石類のひとつ

基本的にアルミニウム、ケイ素、酸素からできている長石グループのなかで、カリウムかナトリウム、またはその両方を含むものを「アルカリ長石類」という。アルカリ長石類の一種に分類される正長石は、酸にも熱にも強い性質を持つため、ガラスや磁器の原料に用いられ、質の良いものは宝石に加工されることもある。なお、アルカリ長石類の鉱物は、ほかに微斜長石、サニディン、アーノソクレスなどがある。

セ 正長石



▲石英をともなって産出した正長石の双晶。
イタリア産。



▲ロシアのウラル山地で産出した正長石。

▶ファセットが施された正長石。マダガスカル産。



直角に交わる劈開面

正長石の結晶は、二方向の劈開面が直角に交わっているのが特徴。そのため、「垂直」を意味するギリシャ語「オルトス」を語源として、英名の「オーソクレス」が名づけられた。

主な産地



▶ブラジルで産した正長石。黒色の電気石をともなっている。